

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年7月29日
【会社名】	株式会社サイゼリヤ
【英訳名】	SAIZERIYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 堀埜 一成
【本店の所在の場所】	埼玉県吉川市旭 2 番地 5
【電話番号】	0 4 8 (9 9 1) 9 6 1 1 (代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画室長兼財務部長 潮田 淳史
【最寄りの連絡場所】	埼玉県吉川市旭 2 番地 5
【電話番号】	0 4 8 (9 9 1) 9 6 1 1 (代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画室長兼財務部長 潮田 淳史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年7月14日付で、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第2号の2の規定に基づき提出いたしました、当社の取締役に対するストック・オプションとしての新株予約権の発行に関する臨時報告書の記載事項につき、未定となっておりました発行価格等の事項が確定いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第5項の規定に基づき、本臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正内容】

訂正箇所には__を付しております。

(2) 発行数

(訂正前)

900個とする。

上記総数は、割当予定数であり、引受けの申込みがなされなかった場合等、割り当てる新株予約権の総数が減少したときは、割り当てる新株予約権の総数をもって発行する新株予約権の総数とする。

(訂正後)

100個とする。

(3) 発行価格

(訂正前)

各新株予約権の払込金額は、以下の算式及び__から__の基礎数値に基づき算出した1株当たりのオプション価格に付与株式数を乗じた金額〔(1円未満の端数は切り上げ)〕とする。

$$C = Se^{-\lambda t} N(d_1) - e^{-rt} X N(d_2)$$

ここで、

$$d_1 = \frac{\ln(S/X) + (r - \lambda + \sigma^2/2)t}{\sigma\sqrt{t}}, d_2 = d_1 - \sigma\sqrt{t}$$

1株当たりのオプション価値(C)

株価(S)：平成27年7月29日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（終値がない場合は、翌取引日の基準値段）

行使価格(X)：下記(6)に記載

予想残存期間(t)：6年

ボラティリティ(σ)：1年間（割当日から過去1年間）の当社普通株式の週足終値に基づき算出

無リスクの利子率(r)：残存年数が予想残存期間に対応する国債の利子率

配当利回り(λ)：直近年度の配当総額÷上記__で定める株価

標準正規分布の累積分布関数(N(・))

(訂正後)

新株予約権1個当たり82,000円（1株あたり820円）

(4) 発行価額の総額

(訂正前)

未定

(訂正後)

37,100,000円

(6) 新株予約権の行使に際して払い込むべき金額

(訂正前)

< 前略 >

行使価額は、割当日の属する月の前月の各日（取引が成立しない日を除く）の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値の平均値に1.05を乗じた金額（1円未満の端数は切り上げる。）又は割当日の終値（取引が成立しない場合はそれに先立つ直近日の終値）のいずれか高い金額とする。

< 後略 >

(訂正後)

< 前略 >

行使価額は、2,890円とする。

< 後略 >

(11) 新株予約権の取得勧誘の相手方の人数及びその内訳

(訂正前)

当社取締役 5名 900個

(訂正後)

当社取締役 4名 100個

以 上